

二 中 の 風

責任者 R3 No3

校長 中島綱紀

今年も二中は「Nリーグ」

梅雨の晴れ間の昼休み。クラス対抗ドッチボール大会「N(二中)リーグ」が始まりました。雨が続く毎日、憂さを晴らすように生徒たちはボールをぶっつけあいます。先輩も後輩も関係ありません。一年生も果敢に三年生に向かっていきます。卒業した先輩たちが始めたこの大会。後輩たちが受け継いでいます。写真には写っていませんが、横では先生たちが生徒以上に盛り上がりまして大声をあげています。天気予報では、また翌日から雨が続きそうです。少しの間だけでもみんな盛りました。やっぱり中学生はじっと過ごすのは苦手です。コロナ禍でたまっとうっぴんを笑顔で吐き出しました。



忘れちゃいけないよ、二年生



新しい年度になって三か月。この時期に注目を集めてしまうのは一年生と学校を引っ張っている三年生たち。なかなか注目を浴びないのが二年生ですが、けっして忘れられているのではありません。むしろ、安心して見守られているのが二年生です。毎日の授業風景をみても、とても落ち着いて学んでいます。一年前は遅れての二中デビューでした。「ゆっくり二中生になろう。」と声をかけていました。たくさんの不安を抱えながらも、よくがんばってきた120名です。九月末には修学旅行

で関西に行く予定です。今年こそ、みんなで奈良の大仏を仰ぎ見よう。鹿にせんべいもやろう。ホテルで枕投げもやろう。

トイレのスリッパに思うこと

感染予防のために、毎朝生徒用のトイレを消毒して回っています。3年生のスリッパは毎日揃っています。2年生はほぼ毎日揃っています。1年生は毎日揃っていませんので、毎日指導しています。この時期のこの現状は、毎年の恒例です。使ったスリッパは、次はだれが使うのかはわかりません。



そんな誰かにそっと思いを寄せて並べておく。先輩たちはそれを当然としてやっています。しばらくしたら一年生たちもやります。学校は授業以外の場で学ぶことがたくさんあります。たかがスリッパ。されどスリッパ。人にとって、大切なことを教えてくれます。